

九州・沖縄文化力推進会議 令和4年度事業計画（案）
～九州・沖縄・山口の文化施設、認知度向上に向けた取り組み～



1 方針

九州・沖縄文化力推進会議では、文化は地域の観光や経済活動に刺激を与え社会を活性化させるものとして、「九州・沖縄文化力」ロゴマークの利用促進、文化イベントの情報発信等を図ってきた。

令和4年度は、新型コロナウイルス終息後のインバウンド増を見据え国内外からの来訪者に対し、九州・沖縄・山口の各種文化をPRしていくとともにエリア内の周遊を促すこととする。

2 事業実施計画

(1) 国内外への文化情報の発信

コロナ後に開催が見込まれる各種大規模イベントを機会として捉え、国内外からの来訪者に対し、九州・沖縄・山口の各種文化の魅力を発信し、エリア内周遊の促進を図る。

(2) 文化資源を活用した取組

①ミュージアム周遊パスの作成

九州・沖縄・山口の美術館・博物館等の特典クーポン付案内冊子を作成し、文化施設への誘客を図るとともにエリア内周遊の促進に寄与する。

- ・全県共通のPRツールを活用した各種媒体による一体的なPR
- ・外国人観光客の誘客を図るため、日本語・英語併記の冊子を外国人案内所等へ設置
- ・多言語対応を図るため、日本語・韓国語併記、日本語・中国語併記のWEB版を作成し、各県HP等に掲載

②「九州・沖縄文化力」ロゴマークの使用促進

各種文化イベントにおける「九州・沖縄文化力」ロゴマークの使用を一層促進し、文化活動の更なる活性化を図る。

- ・県主催及び後援の各種事業における使用促進

③各県が連携した伝統文化の情報発信

各県が連携して国内外にアピールできる共通的な伝統文化を情報発信する。

④観光分野との連携による情報発信

各県の観光団体を通じて、文化イベント情報を発信する。

⑤小中学生の修学旅行等における各県文化施設の活用促進

「九州・沖縄・山口修学旅行施設案内」を活用し、九州・沖縄・山口の小中学生の修学旅行等における各県文化施設の活用を促進する。

(3) 文化庁等との連携

文化プログラムの実施に向けた文化庁等の取組を踏まえ、各種文化イベントを文化プログラム（beyond2020 など）に登録し、文化活動の更なる活性化を図る。

- ・各種事業の登録促進

(4) 文化財の防災・危機管理に関する取組

大規模災害時の文化財関係専門職員や大学・民間の文化財専門家による文化財のレスキューに係る体制整備の検討

(5) 九州博物館協議会との研修の共催

3 予算額

国内外への文化情報の発信	540千円
ミュージアム周遊パス作成・広報経費	500千円

以上

【参 考】

<九州・沖縄文化力推進会議の概要>

文化の力による地域の一体化・活性化を目的とする文化庁の文化力構想※に基づき、平成18年9月14日九州・沖縄文化力推進会議を設立。

- ・目的：九州・沖縄・山口圏域の文化活動の活発化を通じた地域の活性化、文化情報の発信
- ・議長：福岡県と一般社団法人九州経済連合会が1年交代で務める
- ・組織：九州・沖縄・山口各県の部長、経済団体（九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会）の役職者を会員として、その下に幹事会、部会、顧問（文化庁）、アドバイザーを置く

※ 文化力構想：文化の持つ、人々に元気を与え地域社会全体を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力を「文化力」と位置付け、地域の文化力を発揮することで日本の社会を元気にしようという文化庁の構想

<令和3年度の主な取り組み状況>

- ・ミュージアム周遊パスの作成

掲載施設数：188施設 利用期間：8月1日～1月31日

冊子（日本語・英語併記版）20,000部作成

WEB版（日本語・英語併記版、日本語・韓国語併記版、日本語・中国語併記版）